

奈良県感染症情報

平成 26 年 第5週(1 月 27 日～ 2 月 2 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

！！ インフルエンザ注意報発令中 ！！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	25.17	(21.24)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	7.65	(8.85)	↗	↗	↗	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	0.82	(1.21)	↗	↑	→	↓
4	水痘	0.65	(1.00)	↘	→	↓	↓
5	RS ウイルス感染症	0.50	(0.56)	↘	↓	↘	↘

発生状況： 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

◆インフルエンザ注意報が発令中です。

県内全域で、注意報基準値(定点当たり10)を超えています。

葛城保健所管内では前週警報基準値(定点当たり30)を超え、今週はさらに増加しています。

- 第5週におけるインフルエンザの定点当たり報告数は県全体で25.17と前週(21.24)よりさらに増加しました。特に葛城保健所管内では、前週に続き警報基準値を超え、36.27まで増加しています。前週と比べると増加のペースは緩やかになってきましたが、流行の拡大防止のため、咳エチケットや外出後の手洗い・うがいの徹底、適度な湿度の保持など感染予防に努めましょう。
- 保健研究センターによる検査では、複数の検体から、A(H1N1)pdm09型とAH3型(香港型)の両方を検出しています。

《参考》インフルエンザ流行の注意報発令について -奈良県保健予防課-

<http://www.pref.nara.jp/item/113686.htm#moduleid17426>

インフルエンザ Q&A (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/ga.html>

啓発ツール(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/keihatu.html>

◆県内全域で、感染性胃腸炎が流行しています。

- 第5週における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は県全体で7.65となっています。葛城保健所管内では、11.14と、前週(8.00)よりも増加しています。県全体で見ると、前週と比べやや減少しましたが、再び増加する可能性もあるため、咳エチケットや外出後の手洗い・うがいの徹底など感染予防に努めるとともに、体調管理には十分注意しましょう。

《参考》手洗いの手順リーフレット -厚生労働省ホームページ-

http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/link01-01_leaf02.pdf

ノロウイルス Q&A (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 5 週 1月 27日 ~ 2月 2日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	3	3		
インフルエンザ	1359 (25.17)	306 (27.82)	293 (18.31)	247 (22.45)	399 (36.27)	44 (22.00)	70 (23.33)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	17 (0.50)		5 (0.50)	5 (0.71)	4 (0.57)		3 (1.50)	
咽頭結膜熱	8 (0.24)	1 (0.14)	2 (0.20)		4 (0.57)	1 (1.00)		
A群溶連菌咽頭炎	28 (0.82)	15 (2.14)	5 (0.50)	4 (0.57)	4 (0.57)			
感染性胃腸炎	260 (7.65)	40 (5.71)	85 (8.50)	49 (7.00)	78 (11.14)		8 (4.00)	
水痘	22 (0.65)	13 (1.86)	2 (0.20)	4 (0.57)	2 (0.29)		1 (0.50)	
手足口病	1 (0.03)	1 (0.14)						
伝染性紅斑								
突発性発しん	13 (0.38)	8 (1.14)	3 (0.30)	1 (0.14)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.14)		2 (0.29)				
眼科定点数	9	7	3	2	2	0	7	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	4 (0.44)	1 (1.00)	3 (1.00)				-	
基幹定点数	6	7	2	7	7	7	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)				-	
マイコプラズマ肺炎							-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)		1 (0.50)				-	

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 2件(奈良市 1件、郡山 1件)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	急性脳炎 1件(奈良市 1件) 梅毒 3件(奈良市 2件、桜井 1件)

❖ 第 5 週のトピックス ❖

◆鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスによる感染事例に関する
リスクアセスメントと対応(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/flutoppage/2276-flu2013h7n9/a-h7n9-niid/4324-riskassess-140129.html>

◆第8回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会が
開催されました。
<資料>(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000036326.html>

◆フィリピンで麻しんが流行しています

東アジアと東南アジアにおける麻しんの流行状況について(厚生労働省 検疫所)

<http://www.forth.go.jp/topics/2014/01301635.html>

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	2	5	26	42	39	38	23	46	44	45	37	102	26	35	48	50	31	17	4	1	661	1674
	女	6	12	23	17	40	34	35	51	43	54	40	95	18	47	65	53	23	30	11	1	698	1721
RSウイルス感染症	男	3		4	1	1	2					1										12	53
	女	1	2	1		1																5	53
咽頭結膜熱	男				1		1		1				1									4	19
	女				1				2	1												4	22
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	2	2	3	1	1	1											13	56
	女				2	2	1	1	2	1	1	3			1							15	60
感染性胃腸炎	男	1	9	10	12	4	7	9	11	10	6	4	19	6	26							134	561
	女	1	7	11	10	6	11	10	3	6	4	4	23	7	23							126	517
水痘	男		1	2	3	1	1		2													10	71
	女			2	1	4		1	2	1		1										12	70
手足口病	男																					1	3
	女								1														
伝染性紅斑	男																						3
	女																						
突発性発しん	男		4	5																		9	17
	女		2	1	1																	4	14
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						
流行性耳下腺炎	男										1		1									2	5
	女														1							1	6
急性出血性結膜炎	男																						
	女												1			1						2	11
流行性角結膜炎	男																					2	7
	女															1	1					2	
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男				1																	1	1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	2
	女																						1

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

